

校長室より(9)国際交流・エンパワ編①

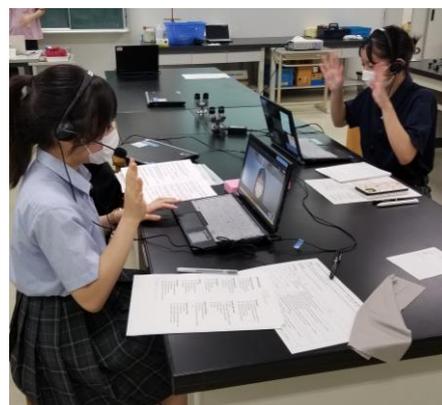
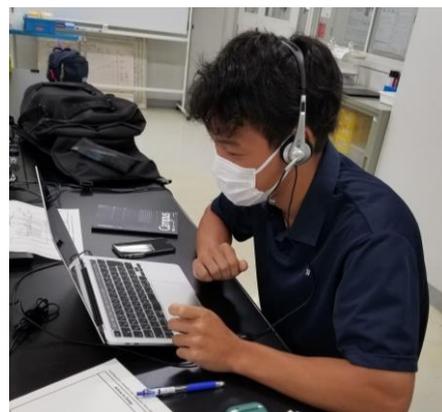
科学研究部（生活班・物理班）と麗山高級中学（台湾）とのオンライン交流

8月27日（金）、本校の科学研究部生活科学班と物理班の生徒が台北市立麗山高級中学とオンラインで交流しました。

本来は、夏に台湾で開催予定のサイエンスフェアに参加するはずでした。コロナ禍で大会そのものが開催されていません。参加希望していた本校の1年生5名と2年生3名、麗山高級中学から10名が参加してオンライン上のワークショップを実施しました。

参加した生徒は、初めは緊張していましたが、とても楽しく過ごせたとのことでした。今後の取組で研究発表交流というレベルでなくても楽しい交流が出来ることが示せたように感じます。

コロナ禍だからこそ生まれたオンラインでの国際交流が、定期的に行なえば、生徒にとっても有意義なものになると感じました。



Empowerment Program 始まる！



ジョークが得意な
ファシリテーター
のキースと
7人のグループ
リーダーたち

Shy Shy Bye Bye

8月28日（土）から3日間、(株)ISA企画の「**Empowerment Program**」が始まりました。これは英語をコミュニケーションツールとして、外国人ファシリテーター1名と、生徒6名に1名のグループリーダーがつき、すべて英語で考え、ディスカッションを行い、ロールモデル（グループリーダー）から学ぶ価値観や考え方を生かして、夢や目標について段階的に考えられるよう工夫されているプログラムです。最終日にはプログラムの集大成として個人で英語プレゼンテーションに挑戦します。

今回、科学技術高校としては初めてとなったこのプログラムには1年生36名、2年生6名が参加しました。初日のメニューはグループリーダーによる英語プレゼンテーションとポジティブシンキングについてのグループディスカッションでした。グループリーダーは東京大学の大学院生など国費等で日本で勉強する機会をつかんだ人たちです。簡単な日本語を使って、語りかけるように自分の夢を語るプレゼンテーションは素晴らしかったです。午後からのグループディスカッションでは、最初は発言が少なかったように感じた生徒たちが、徐々に英語で発言するようになり、最後はただ発表するだけでなく、伝えるための工夫に一手間かけるグループが出てきました。2日目、3日目の生徒たちの挑戦を期待しています。 校長 久保